

日蓮大聖人御書全集

うえのどのごへんじ

上野殿御返事

ひわかごぜんたんじょう　こと

（日若御前誕生の事）

新版
1902

うえのどのごへんじ

ひわかごぜんたんじょう

こと

上野殿御返事（日若御前誕生の事）

こうあん

ねん

がつ

にち

さい

なんじょうときみつ

弘安3年（'80）8月26日

59歳

南条時光

おなご

もん

開

おのこご

いえ

継

にほんこく

し

女子は門をひらく、男子は家をつぐ。日本国を知つても、

こ

たれ

継

たから

だいせん

満

こ

子なくば誰にかつがすべき。財を大千にみてても、子なく

たれ

譲

げてんさんぜんよかん

こ

ひと

ば誰にかゆずるべき。されば、外典三千余卷には、子ある人

ちようじや

ないてんごせんよかん

こ

ひと

びんにん

を長者という。内典五千余卷には、子なき人を貧人という。

おなごひとり

おのこごひとり

てん

にちがつ

ち

女子一人、男子一人。たとえば、天には日月のごとし、地

とうざい

象

とり

ふた

羽

くるま

ふた

輪

には東西にかたどれり。鳥の二つのはね、車の二つのわな

おのこご

ひわかごぜん

もう

たま

詳

り。されば、この男子をば日若御前と申させ給え。くわし

くは、またまた申すべし。
もう

こうあんさんねんはちがつにじゅうろくにち

弘安三年八月二十六日

うえのどのごへんじ

上野殿御返事

日蓮 にちれん

花押 かおう